



撮影 / 安藤邦廣

白川郷の茅葺き

合掌造りの里、白川郷では村人が協力して茅葺き民家の屋根を葺きかえる「^{ゆい}結」とよばれる作業が営まれてきました。結を通じて人と人、人と自然の繋がりが保たれ、屋根を葺く技術が伝承されています。

自然と共生する循環型社会をめざして

2011年3月、東北・関東地方を襲った大災害。今、渦中にある方々は、想像もしなかった苦労をされていることと存じます。心より、お見舞い申し上げます。1995年1月、神戸を襲った大地震。東北・関東の方々からも、多くの励ましの言葉をいただきました。それを支えに、館内の復旧に全力をあげ、2カ月後の3月には定常開館しました。現在、伝統的木造建築を否定する声の一部に出っていますが、数千年の歴史の試練に耐え、発達してきた技術。その技術と伝統は、今後、自然と共生する循環型社会をつくり上げていく上で、最も中心に据えるべきものではないでしょうか。これは、人類共通の課題でもあり、竹中大工道具館の使命も、まさにここにあります。

CONTENTS

- EXHIBITION 葺く-草と木でつくる屋根-
- EVENT 「技と心」講演会
特別セミナー
ヨーロッパ大工の技
夏休み子ども体験教室
- EXHIBITION 穴屋鑿の名工 左久弘の鑿
- REPORT 「ベルギー 木の匠の技」展
- SEMINAR 「技と心セミナー」のご案内

EXHIBITION

平成23年度企画展

葺ふく

草と木で つくる屋根

ROOFING WITH THATCH,
BARK AND WOODEN SHINGLES

【東京会場】

2011年8月22日(月)～10月1日(土)
ギャラリー エー クワッド(竹中工務店東京本店1F)
開館時間 平日11:00～17:30
 土曜日 10:00～18:00(最終日は17:00まで)
休館日 日曜日・祝日
主催 Gallery A⁴(ギャラリー エー クワッド)

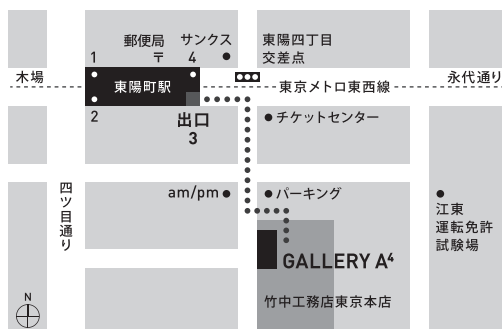
【神戸会場】

2011年10月8日(土)～11月27日(日)
竹中大工道具館
開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
主催 財団法人竹中大工道具館

共催 一般社団法人日本茅葺き文化協会
公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会
協力 園城寺、賀茂別雷神社、茅葺屋、鶴林寺、岸田工業株式会社、京都府教育委員会、滋賀県教育委員会、富山県西部森林組合、公益財団法人文化財建造物保存技術協会、美山茅葺株式会社、株式会社村上社寺工芸社、有限会社屋根惣、山城萱葺屋根工事、重要文化財若宮八幡宮保存会(加東市)

後援 (東京会場) 江東区教育委員会

企画 財団法人竹中大工道具館



▲【東京会場地図】 Gallery A⁴ (ギャラリー エー クワッド)
東京メトロ東西線「東陽町駅」下車、東出口3番より徒歩3分

平成23年度の企画展「葺く一草と木でつくる屋根」を8月より東京、10月より神戸で開催します。人と自然をつなぐサステナブル建築、循環型社会が注目される今、本展では環境にやさしい草と木でつくる伝統的な屋根に焦点をあて、その技と心を見つめなおします。茅葺き・檜皮葺き・柿葺きの実物大屋根模型や材料、職人の道具がみられる迫力ある展示になっておりますので、ぜひご覧ください。



檜皮葺きの様子

茅かや葺ふき — 草を葺く —

日本各地でとれる茅葺きの材料、職人の道具、実物大の屋根模型を展示します。「民家の顔」である棟の模型のほか、東京会場では日本の茅葺き屋根の中でも特に洗練された筑波地方の屋根を会場に再現します。



茅葺きの棟仕舞(茨城) 撮影/安藤邦廣



茅葺きの道具(個人蔵)

柿^{こけら}葺き^ぶ —板を重ねる—

日本にはさまざまな種類の板葺き屋根が存在しますが、このコーナーではサワラやスギなど水に強い木材をうすく割って重ねる柿葺きを紹介します。原木を割って柿板をつくる一連の工程、柿葺きの屋根模型、職人の道具などを展示します。



柿葺きの道具（個人蔵）



柿葺きの断面模型（全国社寺等屋根工事技術保存会提供）

竹釘

檜皮や柿板を留めるには、鉄釘ではなく植物性の竹釘が使用されています。現在では希少となった竹釘制作の技術を、材料・道具・映像で紹介いたします。

日本の屋根

日本の伝統的な屋根の種類と歴史を絵画文献資料とパネルで解説します。

世界の屋根

アジア・ヨーロッパを中心とした世界の植物屋根を写真パネルで紹介いたします。

シアターコーナー

茅葺き、檜皮葺き、柿葺きの技術に関する映像資料を放映します。

檜^{ひわだ}皮^ぶ葺き —樹皮を重ねる—

檜皮葺きはヒノキの樹皮を重ねるわが国特有の技術です。立木から採取された樹皮、葺材として加工された檜皮、職人の道具、屋根断面のわかる実物大屋根模型、映像などを通して、優美な屋根の曲線をつくりだす職人技に迫ります。



檜皮葺きの材料
（全国社寺等屋根工事
技術保存会提供）



檜皮葺き実物大屋根模型（当館蔵）



もとかわし
檜皮を剥く原皮師（映像）

茸く展記念イベント イベントの日時・内容は変更になることがあります。最新情報はホームページでご確認ください。

東京会場

記念講演会 「里山に学ぶ～草と木でつくる屋根～」	実演・体験教室 「檜皮を葺いてみよう」	体験教室 「茅を葺いてみよう」
講師 安藤邦廣(筑波大学教授・建築家) 日時 9月9日(金) 18:00～19:45 場所 竹中工務店東京本店2F ABホール 定員 先着200名(入場無料・申込不要)	講師 全国社寺等屋根工事技術保存会 日時 8月27日(土)13:30～16:00 場所 展示会場特設スペース (参加無料・申込不要)	講師 日本茅葺き文化協会 日時 9月10日(土)13:30～16:00 場所 展示会場特設スペース 対象 小学4年生以上(小学生は保護者同伴) 定員 20名(参加無料・要申込) 申込締切日 8月19日(金)

神戸会場

体験教室 「茅を葺いてみよう」	実演・体験教室 「檜皮を葺いてみよう」	見学会 「檜皮葺きの現場見学」
講師 茅葺屋 ほか 日時 10月30日(日)10:00～15:00 場所 竹中大工道具館屋外駐車場 対象 小学4年生以上(小学生は保護者同伴) 定員 20名(参加無料・要申込) 申込締切日 10月7日(金)消印有効	講師 全国社寺等屋根工事技術保存会 日時 11月13日(日)13:30～16:00 場所 竹中大工道具館屋外駐車場 (参加無料・申込不要)	見学先 園城寺 大門・新羅善神堂 日時 10月22日(土) 13:30～15:00 解説 滋賀県教育委員会 定員 30名(参加無料・要申込) 申込締切日 9月30日(金)消印有効

ミュージアムトーク

解説 茸く展担当研究員
日時 10月9日(日)、11月6日(日)、 11月20日(日) 各日とも14:00～15:00
場所 竹中大工道具館1階 (参加無料・申込不要)

イベント申込み方法

<ホームページ> 茸く展公式サイト(<http://dougukan.jp/fuku>)イベントページよりお申込みください。

<往復ハガキ> イベント名、氏名(フリガナ)、住所、電話番号、性別、生年月日をご記入の上、下記までお申込みください。

【お申込み先】 〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-18-25
竹中大工道具館「茸く展イベント」係

※1通につき1名様まで ※応募者多数の場合は抽選 ※参加の可否・詳細は締切日以降に連絡します。

EVENT

「技と心」講演会のご案内 職人と語る屋根のはなし

今年の「技と心」講演会は、茸く展の開催を記念して、植物性の屋根に詳しい安藤邦廣先生と3人の若手茅葺き職人をお迎えします。茅葺きをはじめとした植物屋根の魅力、材料確保や技術の継承の課題、そして今後の植物屋根のありかたについて語っていただきます。

日時	10月16日(日) 14:00～16:30
場所	ラッセホール大会場 ※最終ページの地図をご参照下さい
基調講演・司会	安藤邦廣(筑波大学教授・建築家)
パネリスト	塩澤実(茅葺屋)、中野誠(美山茅葺株式会社)、 山田雅史(山城萱葺屋根工事)
映像上映	「屋根を葺くー檜皮」(当館制作・24分)
入場料	無料
定員	先着250名(入場無料・申込不要)



撮影/安藤邦廣



【安藤邦廣氏プロフィール】
1948年宮城県生まれ。1973年九州芸術工科大学卒業。
1982年筑波大学芸術学系講師を経て1998年より筑波大学芸術学系教授。著書に、『茅葺きの民俗学』(はる書房)、『住まいの伝統技術』(建築資料研究社)、『住まいを4寸角で考える一板倉の家と民家の再生』(学芸出版社)、『民家造』(学芸出版社)、『小屋と倉』(建築資料研究社)など。

EVENT

特別セミナーのご案内

ヨーロッパ大工の技

ドイツの木工職人ヘンリヒセン氏によるヨーロッパ大工の技の実演を行います。ドイツの継手仕口模型を製作しながら、大工道具箱の伝統、墨付け方法、鑿や鋸を使った加工についての解説を予定しています。日本の修復工事を行った経験もある講師です。講演はすべて日本語で行います。

日時	2011年7月31日(日) 13:30～15:00 模型製作のため、30分程度延長することもあります。ご留意下さい。
講師	クリストフ・ヘンリヒセン (ハイデルベルグ大学カールヤスペル研究所研究員)
会場	竹中大工道具館地階多目的ホール
参加費	無料(入館料は別途必要)
定員	40名(申し込み多数の場合抽選)
申込締切	2011年7月15日(金) 消印有効

イベント申し込み方法

<ホームページ>

当館ホームページ (<http://dougukan.jp>) セミナーページ
または「夏休み子ども体験教室」ページよりお申し込みください。

<往復ハガキ>

往信用裏面にイベント名、氏名(フリガナ)、郵便番号・住所、
電話番号、生年月日(夏休み子ども体験教室のみ)をご記入の上、
右記までお申し込みください。

夏休み 子ども体験教室

大工の技を見学し、大工道具を使って工作をしてみましよう。



日時	2011年8月27日(土) 13:30～16:00
参加費	無料(保護者のみ別途入館料が必要になります)
工作内容	折りたたみイス
場所	竹中大工道具館地階多目的ホール
参加対象	小学4年生～中学3年生 (小学生の方は必ず保護者をご同伴ください)
定員	15名(申し込み多数の場合抽選)
申込締切	2011年7月31日(日) 消印有効

※夏休み体験教室は往復ハガキ1通につき1名、特別セミナーは1通につき、4名までお申し込みいただけます。(参加者全員の氏名を記入のこと)

【お申込み先】 〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-18-25
竹中大工道具館イベント係

EXHIBITION

穴屋鑿の名工 左久弘の鑿 (開催中)

期間 2011年5月21日(土)～10月2日(日)

場所 竹中大工道具館1F テーマ展示コーナー

東京の鑿鍛冶の名工として知られる「左久弘」の鑿を展示しています。「左久弘」ひだりひさひろ銘は明治時代に活躍した初代・柏木梅吉から三代続き、なかでも二代の柏木政太郎まさたろうがつくった鑿は、特に建築用材のほぞ穴掘りを専門とする穴大工(穴屋)の間で「切れ味抜群で丈夫な鑿」として高い評価を得ていました。今回は当館のコレクションから様々な形の鑿、約30点を紹介します。



広鑿(当館蔵)

REPORT

「ベルギー 木の匠の技」展

3月29日(火)から5月15日(日)まで、「ベルギー木の匠の技」展を開催し、1800人のお客様にご来場頂きました。東日本大震災の影響により、予定されていたイベントが変更になり、ご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。なお本展は引き続き5月23日(月)より8月11日(木)まで、京都工芸繊維大学美術工芸資料館にて開催しております。



「技と心セミナー」のご案内

大工道具と建築技術の専門家ならびに当館スタッフが最新の研究成果や知見をご紹介しますセミナーのご案内です。

参加費 無料(入館料は別途必要)
 開催時間 13:30~15:00(13:00開場)
 会場 竹中大工道具館
 ※セミナー[50]のみ神戸市教育会館

セミナー参加申込み方法

ホームページから申込み

当館HP(<http://dougukan.jp>)セミナーページの申込みフォームをご利用下さい。

- ▷ホームページからはご本人様ならびに同伴者1名に限らせていただきます。
- ▷携帯メールアドレスはご使用になれません。

往復ハガキで申込み

[往信]

- ①セミナー番号②お名前(フリガナ)※参加者全員
- ③郵便番号・住所④電話番号

[返信]

あて先にご自身(代表者)の郵便番号、住所、お名前をご記入ください。裏面は未記入のこと。往復ハガキ1枚につき、4名までお申込みいただけます。

- ▷応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- ▷入場案内ハガキ・メールは締切日以降に発送いたします。
- ▷締切日以降は電話にてお問い合わせください。

[お申込み先]

〒650-0004
 神戸市中央区中山手通4-18-25
 竹中大工道具館「技と心」セミナー係

[49] 2011年9月17日(土)(締切り2011年9月2日)

天然砥石について

講師:瀬戸山正

砥石が縄文時代のころから磨製石器の研磨に用いられていたことは遺跡の発掘調査により解明されています。弥生時代以降は金属器の使用により必要不可欠な道具として用いられ、刃物研ぎはもちろんのこと漆工芸、硯製作、鏡磨き、鏝製作、石工など研磨の道具として幅広い分野で重要な役割を担ってきました。長年に渡る砥石産地の現地調査をもとに、天然砥石の概要を紹介します。

[50] 2011年11月5日(土)(締切り2011年10月21日)

北欧における板で葺く屋根ーフィンランドの木造教会ー

講師:竹内皓

北欧フィンランドは針葉樹に恵まれ、木造建築といえば丸太組積造です。なかでも箱柱式の構法は、世界でも非常に珍しいものです。この躯体の上に、合掌風の屋根架構が載り、その上にはハコヤナギの板を斧で削った屋根板が葺かれます。職人の拘りで、その模様もさまざまです。漆黒のタールが塗られたその屋根板は、森の中で見事に調和しています。今回は17、18世紀におけるフィンランド木造教会を中心にその構造と屋根について紹介します。

[51] 2012年1月28日(土)(締切り2012年1月13日)

初期木割書の世界

講師:坂本忠規(当館主任研究員)

伝統的な建築設計技法の一つに、単位寸法をもとにして比例的に各部寸法を割り付ける木割術があります。この技法を文書化した木割書については、江戸時代のものが良く知られていますが、室町末から安土桃山時代に著された初期木割書についても近年、様々なことがわかってきました。最新の研究成果をもとに、その概要と性格を紹介します。

ACCESS 来館のご案内

開館時間 9:30~16:30(入場は16:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
 年末年始(12月26日~1月7日)

入館料

	個人	団体
一般	300円	250円
大・高生	200円	150円
小・中生	100円	50円
障がい者手帳をお持ちの方 及び付添者1名	無料	
65歳以上の方	100円	

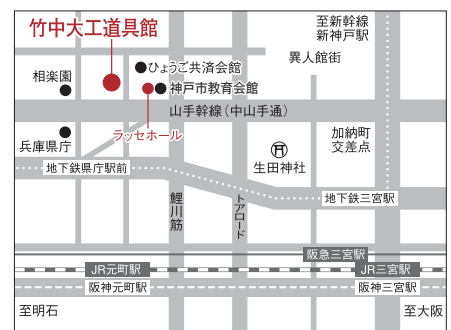
※団体は20名以上 ※その他各種割引あり

交通案内

- ▷JR・阪急・阪神「三宮駅」徒歩18分
 - ▷JR・阪神「元町駅」徒歩10分
 - ▷地下鉄「県庁前駅」徒歩5分
 - ▷新幹線「新神戸駅」タクシー10分
- 駐車場4台(普通車)あります。

連絡先

〒650-0004
 神戸市中央区中山手通4-18-25
 TEL 078-242-0216
 FAX 078-241-4713
 URL <http://dougukan.jp>



※企画展・イベントなどの日程は変更になることがあります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。※本誌のお届け先の変更・追加および送付停止については電話・FAX・メールにてお知らせ下さい

本誌の無断転写・転載・複製は禁じます。 ©2011 Takenaka Carpentry Tools Museum

竹中大工道具館NEWS第25号

2011年7月1日発行
 編集・発行:財団法人竹中大工道具館
 印刷:神戸新聞総合印刷

TAKENAKA
 CARPENTRY
 TOOLS
 MUSEUM

